

講習の名称	【選択】英語の授業分析：理論との往還を目指して
講習の概要	本講習は、英語での指導力の向上を直接的に指南するものではないので注意されたい。むしろ「指導」そのものの意味が問い直されているほど、現代における「学び」そして目の前の「生徒」は多様化が進んでいる。その中で英語教師は、どのようなスタンスで授業に向き合えばよいのかについて、共に語り合いながら悩んでいきたい。理論（特に第二言語習得理論）は、あくまでもその際の道具として活用するに過ぎない。
担当講師	石崎 貴士（大学院教育実践研究科主担当准教授）
講習開設日	令和3年8月11日（水）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス A1（基盤教育1）1階 111教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭(英語)・高等学校教諭(英語)
受講予定人数	5人
受講者への連絡事項 (持ち物等)	持ち物：ノート、筆記用具、英語辞書 教科書：こちらで用意したプリントを使用して授業します。
評価基準	①全ての時間、出席していること。 ②筆記試験の得点が60点以上であること。
評価の観点	講習内容を理解し、説明（記述）もしくは実践できるか否か。
その他特記事項	